

* 2015年2月改訂(第5版)
* 2010年8月改訂

ビタミンB₁剤

日本標準商品分類番号
873121

日本薬局方

処方箋医薬品(注意-医師等の
処方箋により使用すること)

チアミン塩化物塩酸塩注射液

J・P Thiamine Chloride Hydrochloride Injection

貯法: 遮光保存
使用期限: 3年(外箱に記載)

**チアミン塩化物塩酸塩注10mg「日新」
**チアミン塩化物塩酸塩注20mg「日新」

	10mg	20mg
**承認番号	22700AMX00204	22700AMX00205
**薬価収載	2015年6月	
**販売開始		
再評価結果	1974年7月	

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

**【組成・性状】

販売名	チアミン塩化物塩酸塩注 10mg「日新」	チアミン塩化物塩酸塩注 20mg「日新」
容量	1管1mL	1管1mL
有効成分・含量 (1管中)	日本薬局方チアミン 塩化物塩酸塩10mg	日本薬局方チアミン 塩化物塩酸塩20mg
添加物 (1管中)	ブドウ糖85mg	ブドウ糖85mg
性状	無色澄明の水溶性注射液	
pH	2.5~4.5	
浸透圧比	約2(生理食塩液に対する比)	

【効能・効果】

1. ビタミンB₁欠乏症の予防及び治療
2. ビタミンB₁の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際
の補給(消耗性疾患、甲状腺機能亢進症、妊産婦、授乳婦、
はげしい肉体労働時など)
3. ウェルニッケ脳炎
4. 脚気衝心
5. 下記疾患のうち、ビタミンB₁の欠乏又は代謝障害が関与す
ると推定される場合
神経痛、筋肉痛、関節痛、末梢神経炎・末梢神経麻痺、
心筋代謝障害
5. の適応に対して、効果がないのに月余にわたって漫然と
使用すべきでない。

【用法・用量】

チアミン塩化物塩酸塩として、通常、成人1日1~50mgを皮
下、筋肉内又は静脈内注射する。なお、年齢、症状により適宜
増減する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
薬物過敏症の既往歴のある患者
2. 副作用
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査
を実施していない。
(1) 重大な副作用(頻度不明)
ショック: ショックを起こすことがあるので、観察を十分
に行い、血圧降下、胸内苦悶、呼吸困難等の異常が認め
られた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
(2) その他の副作用

	頻度不明
過敏症 ^(注)	発疹等

注) このような場合には投与を中止すること。

3. 高齢者への投与
一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するな
ど注意すること。
4. 適用上の注意
(1) 筋肉内注射時: 筋肉内注射にあたっては、組織・神経等
への影響を避けるため、下記の点に注意すること。
1) 筋肉内注射はやむを得ない場合のみ、必要最小限に
行うこと。
なお、特に同一部位への反復注射は行わないこと。
また、低出生体重児、新生児、乳児、幼児、小児には
特に注意すること。

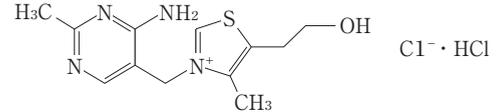
- 2) 神経走行部位を避けるよう注意すること。
- 3) 注射針を刺入したとき、激痛を訴えたり、血液の逆流
をみた場合は、直ちに針を抜き、部位をかえて注射する
こと。
- (2) 注射速度: 静脈内注射により血管痛を起こすことがあ
るので、注射速度はできるだけ遅くすること。
- (3) アンブルカット時: 本剤はワンポイントアンブルである
が、アンブルカット部分をエタノール綿等で清拭し、カッ
トすることが望ましい。

*【薬効薬理】¹⁾

チアミンはATP存在下にthiamine diphosphateに変換し、生
理作用を現す。糖質、たん白質、脂質代謝で、また、TCAサイ
クルの関門として重要な位置を占めるピルビン酸の脱炭酸反応
やTCAサイクル内の α -ケトグルタル酸の脱炭酸反応に関与し
ている。また、トランスケトラーゼの補酵素として五炭糖リン
酸回路での糖代謝や核酸代謝にも関与している。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名: チアミン塩化物塩酸塩
(Thiamine Chloride Hydrochloride)
化学名: 3-(4-Amino-2-methylpyrimidin-5-ylmethyl)-5-
(2-hydroxyethyl)-4-methylthiazolium chloride
monohydrochloride
分子式: C₁₂H₁₇ClN₄OS · HCl
分子量: 337.27
構造式:



性状: 本品は白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはない
か、又はわずかに特異なおいがある。水に溶けやすく、
メタノールにやや溶けにくく、エタノール(95)に
溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。
融点: 約245℃(分解)

【取扱い上の注意】

- **安定性試験²⁾
チアミン塩化物塩酸塩注10mg「日新」及びチアミン塩化物塩
酸塩注20mg「日新」は、最終包装製品を用いた長期保存試験
(遮光保存、3年)の結果、外観及び含量等は規格の範囲内であ
り、遮光保存における3年間の安定性が確認された。

**【包装】

チアミン塩化物塩酸塩注10mg「日新」(1mL) 100管
チアミン塩化物塩酸塩注20mg「日新」(1mL) 100管

【主要文献】

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書
- 2) 日新製薬株式会社 社内資料: 安定性に関する資料

【文献請求先】

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。
* 日新製薬株式会社 安全管理部
〒994-0069 山形県天童市清池東二丁目3番1号
TEL 023-655-2131 FAX 023-655-3419
E-mail: d-info@yg-nissin.co.jp

**販売元

製造販売元

東豊薬品株式会社

東京都葛飾区西新小岩4丁目15番3号

日新製薬株式会社

山形県天童市清池東二丁目3番1号